



森のなごま

2018年11月号

NO. 127 (継続272号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

森林部会 平成30年度『下刈り研修会②』

日時:9月8日(土) 9:30~15:00 天候:曇り時々雨

場所:南足柄市内山 県立21世紀の森 成長の森28-1区画

《尚、9月2日(土)に計画されていた間伐研修会①は雨天のため、中止となり駅解散となりました。》

< 記: 水津 敏 9期 >

(写真撮影: 福島 孝弘 9期、滝澤 洋子 5期、松本 保 11期)

県立21世紀の森に集合した頃には雨でオリエンテーションが少し手待ちとなりましたが、小降りの中、大ガマとシャープナーを携え300m離れた“成長の森”へ。今回は同一区画内を2分割し“県民参加の森林づくり”との並列活動で、研修エリア600㎡(水平30m×傾斜23m、斜度30°)を少人数で対応することになりました。

(注:区画の3分の2で研修を実施)

植林した杉はほとんど周囲の草に覆われているため誤伐防止に細心の注意を払い、伐採した伐根や窪地、更には湿った草叢(くさむら)に足を取られないように慎重な作業が求められました。

時折の小雨模様で日差しに晒されず気温も下がったお蔭で、昼休みを挟みケガも無く予定の時刻に終了できました。



作業前に注意点を皆で確認

・研修で感じたことは

①下刈りの機会が少なく、いざインストラクター出番を迎えた時を思い、防災訓練同様繰り返すことの大切さから参加しましたが、夏場の厳しい環境を考えると、フルコース(AM、PM 共)とハーフコース(AMのみ)に分けることができるなら、敷居も低くなり、より多くの応募が期待できるのでは。事務局には多大の負担と思いますが、インストラクターの構成を考えれば、枝打ちや間伐とは違い真夏の炎天下研修には限界を感じます。

②終了後の意見交換では、大ガマによる太めの灌木の切り方で講師の説明を受けましたが熟練域に達した技であり、ボランティアレベルでは地際で枝打ちノコギリを使うのが踏み抜きを防ぎ、確実に安全に思えます。

(インストラクターとしては枝打ちノコギリ・剪定バサミは必携)

③作業終了時鎌カバー紛失捜査でご迷惑をお掛けしたが、小物で一杯となったポケットに無理矢理押し込むのではなく、カバーと一体の紐をベルト固定するのがベストだと思います。

④今回の研修を通じて、森林整備に関わる活動には衣服は綿製品を避け(できれば着替えも準備)、スパイク付ブーツなど足捲えをしっかりと整えること、そして“作業マニュアル”復読を強く感じました。

【研修風景】



雨の合間の
オリエンテーション



実習後、各班の
発表と意見交換



雨の中、
時折晴れ間も



下刈り8割終了



ツル絡みは
丁寧に処理

- ・参加者:13名(スタッフ、講師含む)
斎藤彰秀⑧、水津敏⑨、松本保⑩、
宇田川祐美恵⑬、水上正昭⑬、岩田典義⑭、
相澤恵美利⑮、塚野久美子⑮
- ・講師:焼尾徹⑬、斉藤夏葉⑬
- ・スタッフ:北村貢⑨、福島孝弘⑨、滝澤洋子⑤



＜NPO 法人かながわ森林インストラクターの会＞からのお誘い

森林探訪

12月1日(土) 森林インストラクターと一緒に森林を歩き、自然を身近に感じる体験をしてみませんか。多くの方の参加をお待ちしています。＜自然観察部会＞

飯山観音と錦繡の白山順礼峠「気持ちのいい東丹沢山麓の尾根道を歩く」

(丹沢大山自然再生委員会と共催)

- ・ 8時50分 小田急線 本厚木駅中央改札口前 集合
- ・ コース：本厚木駅⇒(バス)⇒飯山観音前—飯山観音—白山展望台—白山—白山展望台—むじな坂—昼食—巡礼峠—七沢森林公園(解散)—七沢温泉入口⇒(バス)本厚木駅 15時40分頃＜歩行距離約8km＞
- ・ 募集：80名 11月24日必着 参加費：1,000円 (割引はありません)
- 雨天決行、バス代個人負担です。状況によりコースの変更があります。
- 持物：昼食、飲み物、雨具など必要と思われるもの。
- 服装：ハイキングが出来る程度(長袖、長ズボン、帽子) 履き慣れた靴
- ・ 申し込み：往復はがきに、森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、〒243-0018 厚木市中町2-13-14 サンシャインビル604号
NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会 kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp
(問い合わせ TEL 090-6150-6173) 担当：赤崎

自然観察部会 第91回森林探訪 共催(公財)かながわトラストみどり財団

「河村城址・洒水の滝」 ～山北の歴史と自然を訪ねて～

日時:平成30年9月23日(日)9:00～15:30 晴れ 参加者:83名

コース:山北駅ー室生神社ー河村城址ー洒水の滝ー山北駅(解散)

< 自然観察部会 西岡 一郎 14期 > (写真協力 河西静夫さん15期)

少し汗ばむような気温のものの雨の心配はない日で、またいつもの森林探訪よりは高低差が少なかったこともあり、山北町の歴史と自然にゆったり触れ、静かな初秋の一日を楽しんでいただけたと思います。

蒸気機関車D52の展示された山北駅前の鉄道公園を出発し室生神社に向かいました。室生神社は、源頼朝の石橋山拳兵の際の故事により11月3日に流鏝馬が行われることで知られています。境内の「かながわの名木100選」のボダイジュや、「山北町天然記念物」のイチョウのほか、カゴノキ、カヤ、ケヤキ、タブノキ、ムクノキなどの大木が迎えてくれました。ボダイジュの前では、実のつけ方やぐるぐる回っての落ち方で盛り上がりました。

室生神社のイチョウの大木



河村城址への上り



河村城址からの眺め(国府津、小田原方面)



中世の山城だった河村城址で昼食をとり散策を行いました。山北町在住のインストラクターの清水さんから、畝掘りなどの自然を利用した城の防御のしくみや、前週に行われた河村城址まつりで、のろし上げや流鏝馬(室生神社で行われるものの事前披露)が行われ、全国から河村氏末裔18人が集まったという話がありました。

河村城址を下ったところには静かな秋の里山の風景が広がっていました。キウイやブルーベリーの畑を過ぎ、稲刈りを半分ほど終わった田んぼの中の道を進みました。田ではオモダカやヘラオモダカが花を咲かせ、道沿いでのヒガンバナやコスモスが季節を感じさせていました。

稲刈りが一部行われた秋の里山を歩く



オモダカ



蛇行しながらゆっくりと流れる酒匂川をながめながら洒水の滝を目指しました。洒水の滝への歩道に入るととたんに涼しくなりコケやシダも増え滝特有の雰囲気になりました。対岸の崖にはツチアケビの赤い実が見られました。落差 69m の洒水の滝付近ではまとまった休憩を取り、滝を堪能して頂けました。

洒水の滝からは、ふたたび酒匂川を渡り、御殿場線の線路沿いの桜並木の脇を通り鉄道公園に戻り解散しました。

スタッフ: かながわトラストみどり財団 榎様、原様 看護師 青木様
インストラクター: CL 西岡⑬、L 松石⑬、L 山口⑭、清水③、内野⑨、小笠原⑩、小林⑩、赤崎⑫、大原⑬、長尾⑬、牧石⑭、藤井(世)⑭

洒水の滝



平成30年度 研修会 「森林部会 & 普及啓発部の合同研修会」

場所: やどりき水源林 休憩棟等 日時: 平成30年9月8日(土) 10:00~15:00 参加: 12名

＜記 & 写真：真貝 勝 11期、井出 恒夫 1期＞

講師: 午前: 森林文化部会アロマスプレー 真貝氏 ⑪ 午後: ストーンアート 井出氏 ①

参加者: 井出①、菊地①、堀江④、松本洋子⑧、内野⑨、小笠原多加子⑩、

山下⑪、福島正治⑪、真貝⑪、後藤⑭、鶴井⑮、小野雅一⑮

今回、初の試みの森林文化部会と普及啓発部会の合同研修が行われた。

＜午前＞のアロマスプレー作りでは、水蒸気蒸留器の製作から実施。まずは、銅製のパイプの折り曲げを全員に経験してもらい、その後難易度の高い冷却パイプのコイル部分の製作を実施。さらに、冷却用器に継ぎ手で固定し、水冷部分の組み立て、蒸し器となる鍋との接続をして水蒸気蒸留器が完成。2班に分かれ2台の蒸留器ができた。その後、当日朝に収集したアスナロの葉と、スギの葉をそれぞれ抽出した。抽出は1時間で約200cc。精油に相当する油分は容器の表面にうっすらと浮かぶ程度の抽出液なので、ほとんどが蒸留水である。それをスプレー容器に分け、スプレーし香りを楽しんだ。フィトンチッドとして知られる成分を若干含んでいるので、快適感、清涼感、鎮静作用、などが期待できる。

合同研修会は初めての試みであるが、「学校の校内の木で、子どもたちを集めてやったら良いかもしれない。学校だと理科室が有るので、加熱源も水も用意できる。」などの意見も出て、部会単独でやるのと比べ、波及効果を感じる事ができた。

森林インストラクターのネットワーク活動の際などに枝打ちの際に出る葉を使って、参加者に別の楽しみを提供できる項目になる事を期待している。

＜水蒸気蒸留器の構成と実機＞

折り曲げ練習

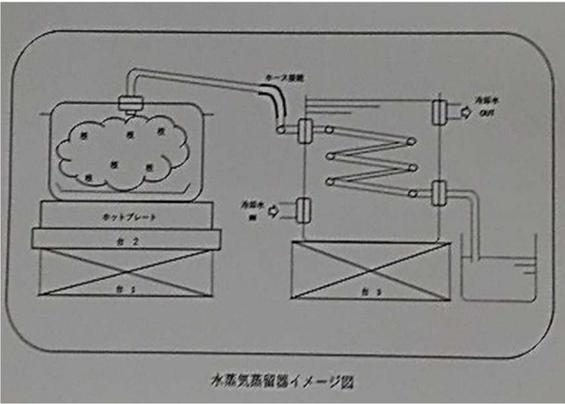


コイル作り(始め)



コイル完成





水蒸気蒸留器イメージ図

①枝や葉を水蒸気で加熱して木の成分を蒸気とともに抽出する部分(図の左側)と

②出てきた水蒸気を水で冷却して液にする部分(図の右側)とに分かれている。

※水の沸騰する温度は100℃だが、蒸気だと加圧することで100℃以上になり、蒸すことで抽出し易くなる。



完成



蒸留部分



継ぎ手取り付け



スプレー液

(記 真貝 ⑪)

<午後>は普及啓発部会担当のストーンペインティング研修会を行った。

河原で見つけた小石に、想像力を膨らましてデザインをして自分だけの作品を制作。作品は手軽で簡単に仕上がり、ペーパーウェイトなどに使用できます。手軽に行えるため、親子連れの行事等で採用してはいかがでしょうか。(絵具や筆、油性ペン等ある程度の数を揃えましたので、必要ある方はお知らせください。)

[手順]①河原で気に入った小石を見つける→②ブラシなどで水洗いし汚れを落とす→③水をふき取り乾燥させる→④絵具や油性ペンで描く

平たい石に絵を描く以外に、石の形をうまく活用して立体的な作品を作ることもできます。想像力を膨らませて作品づくりを楽しみました。

(記 井出 ①)



かながわの森と水を語ろう 第42回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム で **検索**

又は <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/42kenminforum.html>

日時：平成30年12月1日(土) 10時30分(10時開場)～16時00分

入場無料

会場：厚木市立あつぎ市民交流プラザ(アミュあつぎ) HP：[あつぎ市民交流プラザ](#)

(小田急線本厚木駅徒歩5分) 厚木市中町2丁目12-15 6階ルーム601～603(本会場)

【午前の部】10時30分～12時00分【定員150名】

<本会場> ①開会あいさつ 鈴木雅一(東京大学名誉教授) ②これまでの取組について

③有識者による評価発表 大沼あゆみ(慶応義塾大学経済学部教授)

土屋俊幸(東京農工大学農学研究院教授) 吉村千洋(東京工業大学環境・社会理工学院准教授)

<子ども会場> ●体験教室(無料)

一昼食休憩(60分) -

【午後の部】13時00分～16時00分【定員100名】

しずくちゃん



これまでを振り返って、これからの10年(10年後の水源環境)について意見交換します。

① 討議の趣旨・論点説明(全体会) ② 討議(分科会) ③ 質疑・意見集約・閉会あいさつ(全体会)

主催：水源環境保全・再生かながわ県民会議 (尚、かながわ森林インストラクターの会からも参加委員がいます)

問合せ先、申込先：神奈川環境農政局緑政部水源環境保全課 TEL:045-210-4352 FAX:045-210-8855

活動短信

今回の掲載は8/18～9/10です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



蒙霧升降 8/18～8/22頃
もうむしようごう
深い霧が立ちこめる。
第三十九候 立秋 未侯

草露白 9/7～9/11頃
そうしろし
草の露が白く光る
第四十三候 白露 初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば1枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
- 場** 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
- 参** 参加者 人数
- 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
- 財**(公財)かながわトラスみどり財団、**看** 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
- イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ (一社)全国森の循環推進協議会

「水が繋ぐ地域と世代」促進事業 山の学校

- 日** 8月18日(土)10:00～15:00、晴
- 場** 川崎市麻生区 栗木山王特別緑地
- 参** 子供9名(男2、女7)、大人7名(男4、女3)
- イ** L 野牛⑦、水上⑬、塚野⑮
- スタッフ** 川崎市公園緑地協会 2名

現地は、放置された竹林を整備(皆伐)してきた谷戸です。今回、横須賀市のスイミングスクールに通う子供と保護者を対象に、竹林整備と伐採した竹を使った簡易なクラフト体験を行った。始めに、森林(竹林も)の働きを分かり易くお話した。午前、<平坦な伐跡で高い草本の抜き取りと細竹を切る班>と<斜面際で竹を伐る班>に分かれ竹林整備を。作業に当たり、竹を伐る手順・整理の仕方等を説明。竹伐りでは、受口・追い口で伐倒そして玉切り・枝払いと慣れるまで大変でした。休憩後、作業を交代。昼食後、午後は伐った竹を使ってのクラフト体験。花瓶等を例に作り方

を説明。まず、自分が何を作るかを考え、稗を切るも一苦勞する子供達。竹笛や太めの稗からカップをと。ペルーの稗を束ねた笛を器用に作る子も。熱心に“物づくり”を楽しんでいた。終了後、道具の手入れをして収納。暑い中事故もなく、“おみやげ”を持って解散。

(記 水上 正昭 ⑬)

◆鶴岡八幡宮 槐の会・鶴の子会 林間学校

- 日** 8月19日(日)8:30～15:00
- 場** 足柄上郡松田町 やどりき水源林フィールド
- 参** 子供57名、保護者80名、スタッフ22名
- 県** 中田様
- イ** L 草野⑧、井出①、宮下⑩、湯浅⑪、山下⑪、福島⑪、吉田⑪、真貝⑪、安井⑫、笠原⑭、藤井(敏)⑭、藤井(世)⑭、牧石⑭

今夏の猛暑も一時的に遠ざかり、時折晴れ間も見せる活動日和に恵まれ、6班に分かれて、午前・午後と交互に「水源林散策」と「水生生物観察」を行った。

(水源林散策)では、散策開始に先立ち、県職員による「水源林の役割と森の手入れ」などの講話を聴いてから、インストラクターの案内で、各班に分かれて延寿の森を中心に散策開始。樹洞に潜むムササビの話の聞いたり、年輪を数えて樹木の成長の仕方などを学び、間伐で開けたところで、子供たちのヤッホーの声で山彦を響かせたりして楽しんだ。また、シカの頭蓋骨や角などを見ながら、やどりきの哺乳動物のお話に目を輝かせていた。集会棟前では、水源涵養キットによる「緑のダム」や「森の手入れ」など話に頷いていた。

子供たちは、バスの中で森の役割・手入れなどについてのDVDを見てきたので、理解は早かったようでした。

(水生生物観察)では、井出インストラクターの水生観察のやり方や注意事項の説明の後、インストラクターの案内で、各班に分かれて、やどりき沢で採集開始。カジカ、沢ガニ、水生昆虫などに、子供たちの歓声がやどりきの森に響き渡った。

採集後、広場に戻り、調査表を使っての説明、水生昆虫の生態説明に瞳を輝かせ、質問する子供達もいて、楽しく、盛り上がった観察会になった。

久しぶりに爽やかな一日で、子供達にも元気に参加いただき、満足頂いた活動になりました。けが人も出なく、無事に活動を終えることができたのは、保護者のほか、槐の会スタッフのご協力の賜物と感謝します。

(記 草野 弘 ⑧)

◆ 水道記念館・やどりき水源林散策体験

- 日 8月23日(木)、曇りのち雨
 場 足柄上郡松田町 やどりき水源林フィールド
 参 神奈川県営水道給水区域内の一般県民
 子供21名、保護者11名
 スタッフ 水道記念館4名 看 小林様
 イ L草野⑧、山崎⑦、高橋⑨、松本⑪



バス到着早々に、空模様が怪しくなり、プログラムの実施が危ぶまれたので、午後予定の水生生物観察を最初に実施することにしました。

4班に分かれ、インストラクターからの採集方法の説明や注意事項の徹底のあと、班ごとに、やどりき沢に降り、採集を始めた。水遊びにも興じながらの採集となったが、各班それぞれ、カゲロウ、カワゲラ、トビゲラ、カジカ、カジカガエル、オタマジャクシ、沢ガニなどを採集したが、子供を抱えた沢ガニの姿にはビックリ。今日一番の収穫でした。

空模様から、昼食を早め、グループを2班に編成替えし、12時半には午後のプログラムに入りました。まず、水源涵養キットを使用しての「緑のダム」とシカの頭蓋骨等を見ながらのやどりきに生息する「哺乳動物」の話をして、これから散策開始の段階で、土砂降りの雨になり、ここでギブアップ。残念ながら散策は中止となりました。

皆さん、残念そうに帰られましたが、来年の再企画に期待しましょう。

(記 草野 弘 ⑧)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。
 かながわの水環境の
 保全・再生をめざして
<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ トヨタプリウス森木会

- 日 8月25、26日(2日間)
 場 宮ヶ瀬湖カヌー場(カヌー艇庫前広場、管理棟)
 参 25日:子供13名、保護者76名
 26日:子供20名、保護者67名
 県 大西様(25日)、中田様(26日)、
 スタッフ 神奈川トヨタの皆様
 25日・市川社長・黒澤部長他 13名
 26日・黒澤部長他 13名
 イ 25日:L福島⑪、森本⑤、草野⑧、波多野⑨、
 大原⑬、真部⑬、藤井(敏)⑭

26日:L福島⑪、森本⑤、草野⑧、波多野⑨、
 湯浅⑪、吉田⑪、大原⑬

トヨタプリウス森木会創立20周年を記念する森林活動が、宮ヶ瀬湖畔カヌー場艇庫前広場と小中沢園地一帯で25/26日の両日、同じプログラムで開かれました。

両日とも猛暑の中を続々と、トヨタ車が宮ヶ瀬湖畔に集結し、開会式の後、3班に分かれて、次の活動に入りました。

(カヌー試乗体験)

本日の宮ヶ瀬湖畔でのメインイベント「カヌー試乗体験」が、午後の西日に輝く「虹の大橋」を背にして、指導員の指導の下、湖面を気持ちよさそうにオールを漕いでいた。子供たちはライフジャケットの重さに慣れ、親よりも上達が早く、快適な試乗を楽しんでいた。

(水源涵養実験キットによる緑のダム)

子供にも分かる紙芝居・クイズ形式による神奈川県の森林の現状と森づくりのお話、キットを使用しての水源涵養の働きについての説明で、森林への理解を深めた。

(丸太切によるコースターづくり)

丸太切りとコースターづくりは、鋸の扱いに苦労しながら初体験に大汗をかいていた。

(どんぐりトロづくり)(ロケットラフン)

広場でのロケットラフン飛ばしは、久しぶりの解放感に溢れているようで、空高く飛ばそうと頑張っていた。唯一冷房の効いた部屋での「どんぐりトロ」も、子供たちの人気抜群で、好評だった。

(夜間昆虫観察会)

午後6時頃から、多摩大学等の昆虫専門家2氏によるプロジェクター&スクリーンによる説明後、暗くなってきた園地へ向けて出発。恋シーズンに鳴く虫たちの鳴き声を聴きながら、2箇所仕掛けられたライトトラップに群がってくる虫たちの数々を観察した。水生昆虫の成虫、コウロギ、ジャコウアゲハより二回りも小さいアゲハモドキなど、先生に教えていただいた虫も出現、絶好のエサと勘違いしたカマキリまで乱入。子供達は興味しんしんだが、お母さん達の中には敬遠気味に後ずりする姿も見られた。

満月の夜という悪条件下での観察会であったが、帰りの夜道で、鎌首をもたげたシロマダラヘビを発見する余興もあり、滅多に参加できない企画ただだけに皆さん大満足。

両日とも、爽やかとは言えない酷暑の中で、最後まで、参加者が盛りだくさんのプログラムに取り組み、夏休み最後のイベントに満足しながらお帰り頂きました。

(記 草野 弘 ⑧)



◆ 県民参加の森林づくり 除伐・竹林整備

日 8月25日(土)8:00～16:00、晴

場 相模原市緑区青根(学校林)

参 42名(男36名、女6名)

財 大木様、佐々木様、古館様 看 青木様

スタッフ (地元関係者)

学校林創生協議会長 加藤様、青根小学校長 倉田様
相模原市まち・みどり公社 志村様、サトウ草木 佐藤様

☑ L湯浅①、柏倉④、佐藤⑤、富樫⑥、永野⑥、
小野⑦、鈴木⑧、大塚⑩、大橋⑩、吉田⑩、西出⑫、
山崎⑫、北村⑬、松石⑬、水野⑭、飛田⑮、研 大見⑮

今日も青空、快晴。8月も終わりというのに、まだ暑い夏の日差し。本厚木北口に集合し打ち合わせ。各班の作業の変更を聞く。1班はモウソウダケの除伐。2班と3班は広葉樹林の灌木の除伐。4班は下刈となる。お客様をバスに誘導し8:40に出発。10時に青根着。全体のあいさつ、注意事項の説明、準備体操の後、各自ヘルメットやノコ、剪定ハサミ、カマなど作業毎に道具を装備する。

私が担当した4班は日陰のない草場での下刈なので、安全目標は、「熱中症にならないように水分を頻繁に摂取する。」とした。実働時間は1時間半と短め。ベテランの方が多かったので作業ははかどり、きっちりと予定部分の下草を刈ることができた。もっとやりたかったとの声もあったが、皆さん労働の汗に満足の様子だった。

正面には大室山の雄姿が聳え自然に包まれている現場だ。あっという間に昼食。風が心地よい木陰で食べる。

午後は地区センターに移動し地域のボランティアの活動の発表を聞く。神奈川県内にもいろいろな団体がいろいろな活動をしているのだなあ興味深く拝聴する。

2時半に帰路につき、予定通り4時に本厚木に。

反省会では、ヤマビルに数名。それ以外の事故もなく無事終了することができた。

(記 吉田 郁夫 ⑩)

◆ 三菱重工業株式会社

森づくり活動「森林の癒やし体験会」

日 8月25日(土)10:00～15:40、曇り時々晴れ

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 社員とご家族 大人15名 子供14名 計29名

県 前原様

イ L若林⑦、白畑⑦、松本洋子⑧、村井⑨、

星野⑬、塚野⑮、牧石⑮

大型バス2台をお迎えするため、7時にはやどりきゲー

トに到着し、登山者の駐車を遠慮して頂くべきビラ貼りとロープかけをする。台風で荒れた山道の整備に山仕事業者3名が入山していた。

10時には予定通り皆様集まり、三菱重工業松崎様からのご挨拶をスタートに県・水源環境保全課 副主幹 前原様、総括リーダー挨拶、インストラクター自己紹介、ストレッチ、全員で集合写真後それぞれの活動に分かれて出発。

周辺の山々は厚い雲の中。森林の癒やし体験コースは大人3名、子供4名、リーダーから林道を歩きながら、まずやどりき水源林の清流が家庭に届くまでを看板で説明。ミツマタ、マツカゼソウ、アオギリの実生、香りなど楽しんで、Bコース ブルーシート厚手のマットに横になり「樹幹の揺らぎ」を20分ほど体験し次にタカナシ癒やしの森に移動し寄沢のせせらぎに癒されハンモックでしばし瞑想・・(ゲーゲー)毎年楽しみにされていた方もいらした。アブラチャンの実、サンショの香りを楽しんで頂き午前の部は終了。

お昼休みのお楽しみは子供達に大人気の冷えた「スイカ割り」があり、私達もご相伴にあずかる。

午後は牧石さんの指導で水生生物観察。大人5名、子供6名の参加。おしりやパンツもびしょびしょにしてオタマジャクシを追いかけていた子供達。予め採取していた「プラナリア」の説明と拡大鏡での観察には大人も子供も釘付けになり楽しい水生生物観察は15時に無事終了した。

(記 村井 正孝 ⑨)

◆ 東中田小学校 事前授業

日 9月3日(月)10:45～11:30、曇り時々小雨

場 横浜市泉区 東中田小学校体育館

参 同校5年生 担任教師及び生徒114名

イ 小野⑦、牧石⑮(オブザーバー参加)

9/10日に長竹で実施予定の間伐活動に関しての事前授業を同校にて実施。尚、森林・林業等の授業は3学期に予定との事。初めに森林の働きについて質問したが「二酸化炭素を吸収する」「災害を防ぐ」などの発表が有り、保安林制度と内容を簡単に解説、次に森林を作り育てるサイクルを画面にて説明、50年を超えてやっと「お金になる」現実が日本の林業の不振につながる要因の一つであることを理解頂いた。

間伐作業について、伐倒木・スリング木・引っ張り方向の配置を図示。受け口・追い口も側面図で説明、実際の活動時の参考とした。

最後に間伐は大変危険な作業なので「絶対に怪我をしない」事が最優先だが同時に「森の空気をしっかり吸って

自然を楽しんで下さい」とお願いした。

拙い教師役で生徒の皆さんがどの程度森林について理解出来たか甚だ心許ないが終始真摯に話を聞いて頂き先生の「今度生徒が伐った木はいくばくか森の為になりますか?」のご質問には「勿論です、周りの木や下草も生き物たちも大変喜ぶはずですよ」と自信をもってお答えして授業を終えた。

間伐当日のリーダーの牧石氏も多忙の中、参加頂き側面より援助頂きました。

(記 小野 幸広 ⑦)



かながわ森林インストラクターの会『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ 横浜市立中川西小学校 自然観察

- 日 9月6日(木)13:00~15:00、曇り
- 場 愛甲郡愛川町 県立愛川ふれあいの村
- 参 小学4年生101名、教師9名
- イ L 堀江④、柏倉④、小野⑦、渡部⑦、有坂⑧、村井⑨、西出⑫、松石⑬、牧石⑭、石垣⑮

子供達による開会宣言の後、4~5人が一組になり24班に別れて木ラリーの開始です。

12本の木を10人のインストラクターが担当し解説します。校庭や通学路に有る木、初めて見る木について其々が準備したカラーコピーの表で説明/葉や実を使って体感/昭和歌謡を口ずさむ/など等・オリジナリティー溢れる内容に、子供たちは熱心に聞き入り、質問をしていました。

今回、地図を見ながら班のメンバーが協力して木々を発見することに重点を置いたため、インストラクターはあえて目標の木から離れて待機しました。

ゆるやかな登り下りのある広い村内のため、目標木を見過ぎて通過するグループも出ましたが、自分たちで発見すると言うお仕着せではない貴重な体験となったことと思います。

曇天で蒸し暑い午後でしたが、体調を崩すこともなく全員元気に周り、実りの秋にふさわしい、オニグルミやクリの実を発見しイガを割ったり触ったりと、歓声が響くひと時を得て、閉会となりました。

(記 石垣 桃栄 ⑮)

◆ 県民参加の森林づくり 下刈

(県立21世紀の森との共催活動)

- 日 9月8日(土)9:00~15:00、雨時々晴
(下刈作業は12:00まで、午後は木工(希望者のみ))
- 場 南足柄市内山 県立21世紀の森の成長の森
- 参 10名 看 青木様
- スタッフ 21世紀の森 榊アグサ 辰巳様、平井様
- イ L 石川⑫、永野⑥、水口⑨、村井⑨、大塚⑪、湯浅⑬、黒川⑭、河西⑮、小清水⑯

朝、美しい虹がかかり「これから天気は向上くだろう」と考えながら21世紀の森に着いた途端の…雨。

雨が降ったりやんだりの中での作業となりました。自主的に参加を取りやめた方も多く、一般参加ボランティアは10名。2班編成で作業を行いました。作業は順調に進み、予定していたエリアは時間内にきれいに刈ることができました。参加者の充実感も大きかったようです。

昼は21世紀の森の食堂をお借りして和やかに食事しながら意見交換。その後希望者は木工へ、その他の方は現地解散となりました。

雨が時に強く降り、その間に太陽が照りつけるというような天気だったため、森林内の気温も上昇。こまめに休憩を取ったにもかかわらず2名の方に軽い熱中症の症状が出てしまいました。大事には至りませんでしたが、インストラクターとしてもっと気を配れなかったかと反省しています。インストラクターとしての学びが大きい一日でした。

(記 小清水 晴美⑯)

森のめぐみの掲載は、今月号はありません。次掲載は12月号です。




エコプロ2018

SDGs時代の環境と社会、そして未来へ

12/6(木) 7(金) 8(土) 入場無料
10:00~17:00

会場 東京ビッグサイト 東ホール
主催 (一社) 産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2018/>

“SDGs時代の環境と社会、そして未来へ”をテーマに、環境問題を中心に様々な社会で発生している問題や課題を解決するイベントとして展開していきます。様々な企画を実施するほか、持続可能な社会づくりのコンセプトのもと、インフラの老朽化対策やIoT、AIを活用したインテリジェント・インフラを出展対象とした新規展示会「社会インフラテック2018」を今年から初めて同時開催。

SDGsとは《Sustainable Development Goals》持続可能な開発目標

やどりき水源林ミニガイド

10月のトピックス

岩場に咲く『イワシジャン』が河原に咲いていました。台風による増水で上流からきたのかな？



(10/8 撮影 松本)

11月の水源林

かながわの本格的な秋です。11月いっぱいまで平成30年のやどりき当番はお休みとなります。その前にお出で下さい。森の案内人がお待ちしております。

「森の案内」情報

案内と事故保険は無料です。

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ: (公財)かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikil27.html>
E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。
バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

◆南足柄市ざる菊情報

(イベント情報 | かながわ県西地域活性化プロジェクトより)

<http://home.minamiashigara.kokosil.net/ja/archives/5367>



大雄町花咲く里山ざる菊まつり開催情報

日程: 10/20(土)~11/25(日)
場所: 大雄町五本松・原地区(花咲く里山)
催し物: 開催期間中は、地場産の野菜や果物ざる菊やその他花木の販売コーナー
交通: 伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」から伊豆箱根バス道を尊行「仁王門」、歩10分

第10回矢倉沢ざる菊まつり開催情報

日程: 11/3(土)~11/11(日)
場所: 矢倉沢ざる菊まつりは矢倉沢公民館を中心に地域一帯が会場です。
催物: 期間中の土日を中心に地場産品販売
交通: 伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」から箱根登山バス地藏堂行き「矢倉沢」

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧いただけます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★ようやく秋も深まり、地元鎌倉での田んぼでも稲刈りを終えました。今年は、稲穂にたくさんカヤネズミの巣が見つかり、中には生まれたばかりの赤ちゃんねずみも発見しました。

(黒川)

★「箱根の明神ヶ岳に登山。あいにくの小雨模様の中を出発でしたが頂上は晴れており、眼下には雲海に囲まれた山並みの中に箱根の町がクッキリ見え、幻想的な光景を楽しめました(〇)」

(阿藤)

★もう早や11月号。残すところ1か月となりました。つい最近まで酷暑が続いていたが急激に秋の気配。雪や霜の情報も入り一目散に冬支度になっています。今頃はやどりきでも紅葉が赤や黄色で綺麗に色づき錦秋の景色を楽しませて頂けるようになりました。

(吉田)

★台風21号の影響がさめやらぬうちに24号の猛烈な風が吹きました。やどりきも多くの風倒木がでています。



寄大橋脇のムササビ君の樹洞のあるスギの木も無残な姿になってしまいました。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島正治
広報部: 黒川敏史 笠原かずみ
加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦
支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

松田町の観光パンフレットの紹介 (先月号に続き掲載です)

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/kankou-sub/pamphlet.html>

- ・くるたび発見観光ガイドブック
- ・松田町ハイキングガイドブック
- ・西平畑公園パンフレット
- ・公園ガイド
- ・寄七ツ星ドッグランパンフレット
- ・松田町寄清流マス釣り場パンフレット
- ・美しい松田の自然 身近な自然ガイドブック



神奈川県松田町役場 Tel: 0465-83-1221(代表) Fax: 0465-83-1229